

# 第37回 やまぐち眼科フォーラム

謹啓

時下、先生方におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。  
さて、この度下記要綱にて、「第37回やまぐち眼科フォーラム」を開催する事となりました。  
ご多用とは存じますが、ご臨席賜わりますようご案内申し上げます。

謹白

記

【開催日時】 2022年7月2日(土) 18:00~20:00

【開催場所】 山口グランドホテル 2階『鳳凰』  
山口県山口市小郡黄金町1-1 TEL:083-972-7777

【会費】 3,000円

## プログラム

### 【特別講演①】

座長：山口県眼科医会 会長

大西眼科 院長 大西 徹 先生

『ここまで変わった!円錐角膜診断・治療の最前線 ~CuRV, PiXL から AI 診断まで~』

演者：北里大学 医療衛生学部 教授 神谷 和孝 先生

### 【特別講演②】

座長：山口大学大学院医学系研究科 眼科学 教授 木村 和博 先生

『糖尿病黄斑浮腫に対する抗 VEGF 薬の導入および維持療法の実際』

演者：白矢眼科 副院長 / 黄斑疾患研究所 所長 北野 滋彦 先生

※生涯教育認定事業 No16861 2単位(申請中)

※会場にてお弁当をご用意しております

【共催】 山口県眼科医会  
ノバルティスファーマ株式会社

## 【特別講演①】

ここまで変わった！円錐角膜診断・治療の最前線 ～CuRV, PiXL から AI 診断まで～

北里大学 医療衛生学部 教授 神谷 和孝 先生

---

円錐角膜は、眼科医であれば誰もが知っていて、日常診療で必ず遭遇する疾患です。昨今、ハードコンタクトレンズや角膜移植以外にも、角膜内リング、有水晶体眼内レンズ、角膜クロスリンク（CXL）などさまざまな治療法が提唱されています。特に CXL は、リボフラビン点眼後に紫外線を照射することによって、角膜強度を上げて病状の進行を停止させる唯一の治療法であり、欧州や米国では既に標準治療となりつつあります。さらには、角膜形状データを基に、紫外線を選択的に照射する Advanced CXL (CuRV)や角膜を強化しながら軽度の屈折矯正を行う photorefractive intrastromal crosslinking (PiXL)手術も考案されています。本講演では、円錐角膜の診断、経過観察、治療といった基本的な内容から最先端の手術アウトカム(J Clin Med. 2020)まで紹介します。また、現在我々が取り組んでいる AI による自動診断(BMJ Open. 2019, Front Med. 2021)、進行予測(Ann Transl Med. 2021)、眼内レンズ度数計算(Sci Rep. 2018)、地域レジストリーについても言及したいと思います。

---

## 【特別講演②】

糖尿病黄斑浮腫に対する抗 VEGF 薬の導入および維持療法の実際

白矢眼科 副院長/黄斑疾患研究所 所長 北野 滋彦 先生

---

2009年3月に抗 VEGF 薬であるルセンティス®が販売開始されて 10 数年の年月が過ぎて、今や、中心窩を含む糖尿病黄斑浮腫（DME）の治療において、抗 VEGF 薬による治療を第一選択に治療計画を立てることは、日本糖尿病眼学会の糖尿病診療ガイドラインにも記載されている。一方で、抗 VEGF 薬の適切な治療レジメンについては、コンセンサスが得られておらず、第Ⅲ相臨床試験と比較して実臨床下では抗 VEGF 薬の治療回数が少ないこと、視力改善が限定的であることが課題となっている。さらに、新しい抗 VEGF 薬も DME に対して販売開始されようとして、今後どのように抗 VEGF 薬を投与すべきかが問われている。ここでは、DME に対する抗 VEGF 薬の導入および維持療法の実際について解説していきたい。

---